

令和5年度「八千代市学校教育推進計画」アンケート調査結果及び考察

アンケートに答えた教職員の回答数	令和4年度	302
	令和5年度	302
アンケートに答えた地域、保護者の回答数	令和4年度	494
	令和5年度	412

上段 令和4年度
下段 令和5年度

A 大変よい B よい C もう少し D 努力がいる

前年比

△ 対前年比 5ポイント以上上昇

▼ 対前年比 5ポイント以上下降

基本施策1 安心・安全な教育環境の整備

具体的な取組		教職員				地域、保護者			
		A	B	C	D	A	B	C	D
取組	1 教育委員会は、地域の実情に応じて、小中義務教育学校の適正配置を推進している。	15.9	58.3	19.9	6.0	10.7	59.1	22.7	7.5
		15.6	59.9	20.9	3.6	9.5	63.3	19.4	8.3
	2 教育委員会は、学校・保護者・地域住民の方から要望のあった施設整備について、適切な対応を進めている。	7.0	40.4	31.5	21.2	10.5	37.0	35.4	17.0
		6.6	41.1	△37.1	▼15.2	▼4.9	△45.4	▼29.1	21.1
	3 経済的に就学困難な児童生徒の支援について、制度の周知及び申請の利便性の向上に努めている。	12.6	63.9	18.9	4.6	12.6	64.4	18.4	4.7
		9.3	64.5	22.8	3.3	9.7	68.2	18.9	3.6

考察	<p>【1 学校の適正配置】についての調査結果では、否定的な回答が減少した。学校適正配置検討委員会及び通学区域審議会における検討・審議の過程や結果を校長会議で伝えたり、ホームページで公表したりしていることが評価されたのではないかと考えられる。また、西八千代地区の小中学校新設について、地域において「説明及びご意見を伺う会」を実施するなど、今後も学区の再編や学校の適正配置について、学校・保護者・地域への周知に努めていく必要があると考えられる。</p> <p>【2 学校教育施設の改修・整備】については、学校により老朽化状況にばらつきがあるなか、老朽化が進んでいる学校から「もう少し」、「努力がいる」と回答を受けていると考えられる。今後もよりよい学校環境の整備に継続して取り組むとともに、学校教育施設の改修・整備の取組状況の周知に努めていく必要がある。</p> <p>【3 就学困難な児童生徒の支援】については、年度当初に全児童生徒を対象に就学援助の案内文書を配布し、内容についてもより見やすく、わかりやすくなるよう、毎年改良を加えている。また、申請書の様式をホームページに掲載し、ダウンロードを可能にするなど、利便性の向上に努めていることから、地域・保護者の肯定的な回答が75%を超えたと考えられる。今後も申請しやすい環境づくりを工夫する必要があると考えられる。</p>
----	---

基本施策2 教育内容の充実

具体的な取組		教職員				地域、保護者			
		A	B	C	D	A	B	C	D
取組	1 ESD(持続可能な開発のための教育)を推進している。	17.5	59.9	20.2	2.3	9.5	58.7	25.9	5.9
		16.9	61.9	18.9	2.3	7.8	60.2	28.4	4.1
	2 教職員の資質向上と学級経営の充実を図っている。	15.6	65.5	15.6	3.3	11.5	56.5	22.7	9.3
		12.3	63.9	18.5	5.3	10.9	▼50.7	△28.6	10.2
	3 国際教育・外国語教育の充実を図っている。	14.2	61.7	21.5	2.6	7.7	51.2	33.4	7.7
		12.9	60.9	22.5	3.6	8.0	▼46.1	34.7	11.7
	4 情報通信技術(ICT)の活用を推進している。	24.2	53.9	14.9	7.0	11.9	41.7	32.2	14.2
		▼14.2	50.7	△25.2	9.9	7.5	44.7	34.7	13.6
5 道徳教育・人権教育及び体験活動を通して、豊かなこころの育成に努めている。	15.9	65.9	16.6	1.7	16.2	57.6	21.3	4.9	
	▼10.9	△72.5	14.6	2.0	13.1	△65.5	17.0	4.9	
6 郷土学習、伝統や文化に関する教育の充実を図っている。	7.3	57.0	32.5	3.3	15.2	56.0	24.3	4.5	
	8.6	56.0	32.5	3.0	10.7	△65	20.4	4.4	
7 生徒指導体制・教育相談体制の充実を図っている。	15.6	66.9	13.2	4.3	14.2	58.0	22.5	5.3	
	14.6	66.6	17.9	1.0	10.0	58.5	24.3	7.8	
8 大学等教育機関との連携を図っている。	8.6	57.6	26.2	7.6	4.5	48.3	38.9	8.3	
	10.9	61.9	22.5	4.6	2.9	△53.6	35.0	9.0	

考察

- 【1 ESDの推進】については、肯定的な回答が、教職員は75%を超えているが、地域・保護者は70%に達していない。今後も、ホームページ等を活用して各校における具体的な取組を積極的に発信していく必要があると考えられる。
- 【2 教職員の資質向上と学級経営の充実】については、若年層教員の増加により教職員の資質向上の研修が必要であるとする。今後も、教育委員会と各学校とで連携しながら教職員の研修履歴に応じた授業力向上や学級経営の研修の充実に向けていく必要があると考えられる。
- 【3 国際教育・外国語教育の充実】については、教職員と地域・保護者の肯定的な回答に差が見られる。今後も、八千代市独自の言語活動科の充実を図り、オンラインによるALTとの英会話体験等の取組について充実させるとともに地域・保護者への周知に努めていく必要があると考えられる。
- 【4 ICT活用の推進】について、教職員のアンケート結果では、肯定的な回答の割合が低下している。アンケートの回答を確認すると「タブレットの持ち帰りができるようにしてほしい」「安定したネットワーク環境を実現してほしい」というものがあった。次期システム更新ではこれらの課題を解決できるように計画を進めている。また、ICTの活用場面を想定した実践的な研修をさらに充実していきたいと考えている。
- 【5 豊かなこころの育成推進】については、地域・保護者の肯定的な回答が前年度と比べて約5%増の78.6%となっている。これは、コロナ禍の規制の緩和により、宿泊学習等の体験活動が復活したことや保護者へ道徳の授業を公開する機会が増えたことが要因であるとする。
- 【6 郷土愛を育む教育の充実】については、全体として肯定的な回答が増加している。コロナ禍を経て学習の状況に変化があり、郷土学習、伝統や文化に関する体験学習が復活したことや各校でICT機器を活用した取組などを展開していったことが要因と考えられる。
- 【7 生徒指導と教育相談の充実】については、教職員の肯定的な回答は80%を超えているが、保護者は70%に達していない。今後も、子どもに寄り添った丁寧な取組を行い、学校における教育相談の充実を図れるよう研修の充実を図るとともに関係機関と連携した組織体制づくりに努めていく必要があると考えられる。
- 【8 八千代教育サミットの推進】については、保護者の約40%が「もう少し」と回答している。今後は、教育サミットの内容や取組を保護者に周知していく必要があると考えられる。

基本施策3 特別支援教育の充実

具体的な取組			教職員				地域、保護者			
			A	B	C	D	A	B	C	D
取組	1	個に応じた支援の充実を図っている。	13.0	55.3	25.5	6.6	10.1	56.9	25.9	7.1
			▼7.9	58.6	24.8	8.6	8.3	59.7	25.7	6.8
	2	支援のための環境整備に努めている。	7.0	41.0	40.1	11.6	8.7	56.3	26.9	8.1
			5.3	42.4	37.4	14.9	7.3	55.1	△32.3	5.8
	3	交流及び共同学習を行っている。	17.0	58.3	21.2	3.6	11.5	58.7	23.7	6.1
			12.6	△65.6	18.5	3.3	10.2	61.4	22.8	6.1
考察	<p>【1 個に応じた支援の充実】については、特別支援教育に関する研修等において、これまで培ってきた個に応じた効果的な支援を教職員に周知し、教職員の資質向上に努め、引き続き、個に応じた支援の充実を図っていく必要があると考えられる。</p> <p>【2 支援のための環境整備】については、令和5年度は市内全小中義務教育学校に特別支援学級を開設した。今後も、特別支援学級(情緒学級)や通級指導教室の設置、特別支援教育支援員や特別支援学級介助員の配置等の充実及び専門家チーム、学校訪問による学校支援体制の充実をより一層支援していく必要があると考えられる。</p> <p>【3 交流及び共同学習の推進】については、教職員、地域・保護者共に肯定的な回答が70%を超え、昨年度と比較し増加している。コロナ禍を経て学習の状況に変化があり、以前より積極的に校内外で交流及び共同学習が行われていることが実感として回答に反映されたと考えられる。</p>									

基本施策4 体育・健康・安全教育の充実

具体的な取組			教職員				地域、保護者			
			A	B	C	D	A	B	C	D
取組	1	生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための体育科教育の充実を図っている。	12.3	69.1	16.9	1.7	10.3	60.3	23.7	5.7
			12.6	▼64.2	21.5	1.7	12.6	57.8	23.3	6.8
	2	生涯にわたって健康な生活を送るための健康教育の充実を図っている。	9.3	73.2	17.2	0.3	9.7	66.4	19.6	4.3
			11.3	▼66.9	20.5	1.3	9.2	65.8	20.1	5.3
	3	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付ける教育の充実を図っている。	11.6	71.5	15.6	1.3	11.9	59.9	23.5	4.7
			11.3	69.2	18.2	1.3	10.4	62.6	21.1	6.3
考察	<p>【1 体育科教育の充実】については、前年度と比べ、教職員の肯定的な回答が約5%下がっている。これは、体育行事の中止や授業内容の変更等、コロナ禍を経て、児童生徒の運動に親しむ機会が減り、体力低下への影響が要因であると推測される。今後は、生涯スポーツへとつながるよう体育科教育の更なる充実に努めていく必要があると考えられる。</p> <p>【2 健康教育の充実】については、教職員、地域・保護者ともに肯定的な回答が75%以上となっている。今後、ESDを見据えた教科等横断的な食育の実践における残食率を減らす等各校における健康教育における課題を見据えた取組の充実及び講師を招いての講演等、一層の健康教育の充実に努めていく必要があると考えられる。</p> <p>【3 安全教育の充実】については、肯定的な回答が、教職員、地域・保護者では80%以上、保護者では70%以上となっている。今後も中学校区と連携した防災教育及び保護者との引き渡し訓練の充実等、地域との連携をより深め安全教育の充実を図る必要があると考えられる。</p>									

◆その他、お気づきのことがあればお書きください。

※無回答(特になし)…80.4%

※回答あり…19.6%

《主な記述》

【安心・安全な教育環境の整備について】

- ・学区の再編、割り振りは地域の実情や子どもの立場にたって考えてほしい。
- ・夏の気温上昇に対応して、教室のエアコン設置は大変有効だった。体育館や特別教室にもエアコン設置を希望する。
- ・学習環境に大きな差が生じないように取り組んでほしい。
- ・学校施設の老朽化に対する改修や整備は急務であると考える。
- ・それぞれの施策を進める教員の配置が必要だと思う。新しいことを実施するための配置を希望する。
- ・先生方の多忙さは解消されていないように見受けられる。教員を増やし、先生自身が余裕をもって指導にあたれるとよいと思う。

【教育内容の充実について】

- ・日頃、教育に労力を使われている先生方に感謝している。
- ・学校教育の重点目標としてSDGsを推進する活動はよい。保護者も含めた勉強する場を設けるともう少し理解が深まると思う。
- ・不登校支援、いじめ問題の対応等、教員の資質向上に期待する。
- ・日本語を母国語としない子どもに対する支援について、実状を把握し充実していく必要がある。
- ・ICT教育については、宿題もタブレットでする等、学校で使うだけでなく積極的に利用することを期待する。
- ・タブレットの持ち帰りについて早急に対応し、教育を受ける機会、選択肢が増えることを望んでいる。
- ・子どもや保護者が学校側に悩みを相談しやすいよう工夫がたくさんされていて、とてもありがたい。
- ・行き渋りや、教室に入れない、登校困難な子どもの受け入れに、学校内にもうワンクッションの場所と教員がいるとよいと思う。
- ・八千代市独自の産業や歴史・文化に触れる等、市や県に愛着がわくような活動が増えるとよいと思う。
- ・教育サミットの取組について、学校ではしっかり取り組んでいると思うので、保護者等にも広く周知してほしい。

【特別支援教育の充実】

- ・特別支援教育の充実というテーマのもと、全校に特別支援学級を開設することはよいことだと思う。
- ・支援員、介助員について、増員と勤務時間の延長を希望する。

【体育・健康・安全教育の充実について】

- ・コロナ禍前まであったイベント事がなくなったり縮小したりしているのは残念なので、行事の見直しも含めて検討してほしい。
- ・性教育について助産師の講演等、専門家による正しい知識の提供の場を設定する等の取組を期待する。
- ・安全教育、防災教育の充実していく必要がある。

【本アンケートについて】

- ・八千代市での教育に関する取組がよくわかった。
- ・このアンケートの質問をもう少し簡単にわかりやすい言葉・内容にしてほしい。